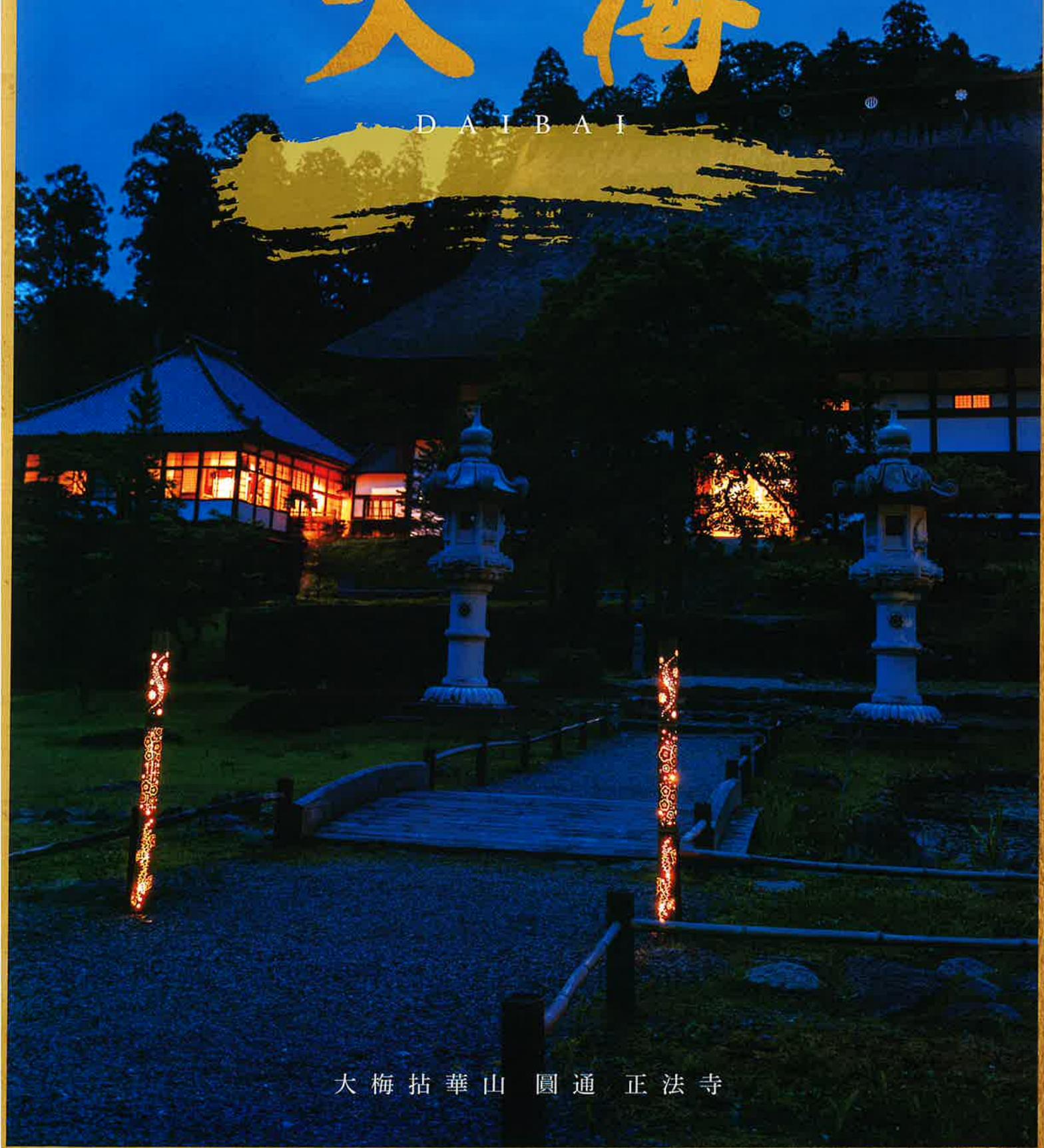


# 大 梅

DAIBAI



大梅拈華山圓通正法寺

## ご挨拶

正法寺 山主 盛田 正孝

本年元旦、能登半島大震災にて尊い命を亡くされた方々の御冥福を心よりお祈り申し上げます。又大切な方を失くされた方々の悲しみが一日も早く生きる力へと転じて頂けますよう、御祈念申し上げます。

正法寺はいつも乍ら末山、法類有縁の方々のお力添えを賜り、修行させて頂いておりますこと有難く心より感謝、御礼申し上げる次第でござります。

御存知の通り、本年は四月一日より太祖大師の七〇〇回大遠忌が修行されます。そしてその理念『相承』を掲げて報恩行の



## 年頭のご挨拶

正法寺末寺護持会会長 願成寺 芳川 春彦

令和6年甲辰改歳の令辰に当たり、皆様方には良き新年をお迎えのこと 大慶に存じ上げます。

コロナ禍での生活も第5類に移行し行動制限が大幅に解除された昨年でした。日本各地においてもお祭りなど伝統行事が復活するようになり、寺院法要もここまで延期してきました。慶弔行事が行われ始めました。御本寺様でも様々な年間行事や臨時行事が再開されるようになりました。

山主老師におかれでは大本山總持寺副貫首として本年いよいよ行わる大遠忌に向け、各地の予修法要や末寺行事をお勤めになり、

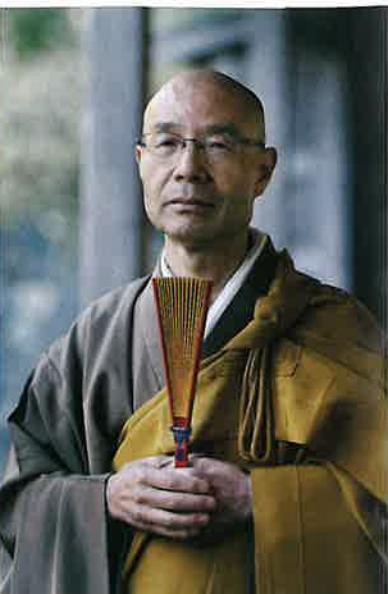
毎日ご多忙の日々を過ごしているつ シやいます。山主老師不在の時には堂監老師、後堂老師を始め各役寮の皆様により、山内行事をしっかりと支えていらっしゃいます。また、一

昨年同様これまでになかった各種の新しいイベントなどを積極的に開催し、一般の方々に広く開放して時代に即した正法寺の新しい姿を築こうとしております。本年も正法寺を

支援して下さる多くの皆様の更なるご理解とご支援の程を賜りますよう伏してお願い申し上げる次第です。

末筆ながら皆々様のご隆盛と諸老師皆様の法臘延長を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





## 僧堂だより

正法寺 後堂 春日 和光

いわゆる職業訓練ではなく  
目指すのは坐禅する宗侶の育成

法式進退は行持規範と照合  
両本山、他の僧堂の例示も併用

おかげさまをもちまして正法寺専門僧堂の  
後堂のお役を頂戴して4年目となりました。  
就任以前に大本山永平寺において維那の役  
をいただいておりました私でございますので、  
就任当初は指導役である私自身が總持寺進退

に戸惑うところもありましたが、修行僧と同じ  
気持ちで盛田山主老師の御指導のもと、不  
十分ながらも後堂の役に就いているところ  
でございます。そんな中、令和5年冬制中を  
終え、現在8名の修行僧と共に僧堂生活を送  
らせていただいております。

現在、役寮の中には、永平寺での安居や役  
寮経験を持つ者から、總持寺安居ならびに正  
法寺安居の者など、様々な経験を持つ者が從  
事しております。そうであるがゆえに、法式  
進退については、「永平寺ではこのようにしま  
すが、總持寺ではどうするんですか」など「他

の専門僧堂はどうしているんでしょうか」と  
関係役寮に訊きながら、「行持規範ではこのよ  
うになつていい」等々、現行の法式進退でも  
「行持規範」での規定や両山の違い、専門僧堂  
との違いを折々に例示し、正法寺での法式進  
退に固まることの無いように指導しております。

各自が正法寺を送行してからも日常的に  
坐禅をする宗侶を目指してもらいたい」。

このことこそが、盛田山主の想いの具現

化であり、全役寮が日々努めていかなければ  
ならないと誓願しているところであ

ります。

## 山門行持

【令和5年】

▼9月28日(木)

両祖忌 逮夜  
導師 春日和光 後堂

▼9月29日(金)

両祖忌 正當  
導師 松本隆真師(奥州市・藤春院)

▼12月31日(日)

除夜の鐘  
導師 盛田正孝 山主

▼1月1日(月)

元朝大祈禱会  
導師 盛田正孝 山主

▼1月6日(土)～2月3日(土)

寒行托鉢  
導師 松森弘隆 単頭

▼10月4日(水)

達祖忌 逮夜  
導師 松森弘隆 単頭

▼10月5日(木)

達祖忌 正當  
導師 松森弘隆 単頭

▼1月15日(日)

解制行持  
導師 盛田正孝 山主

▼2月15日(木)

釈尊涅槃会  
導師 盛田正孝 山主

▼11月20日(月)

熊野大権現大祭祈禱会  
導師 春日和光 後堂

▼11月20日(月)

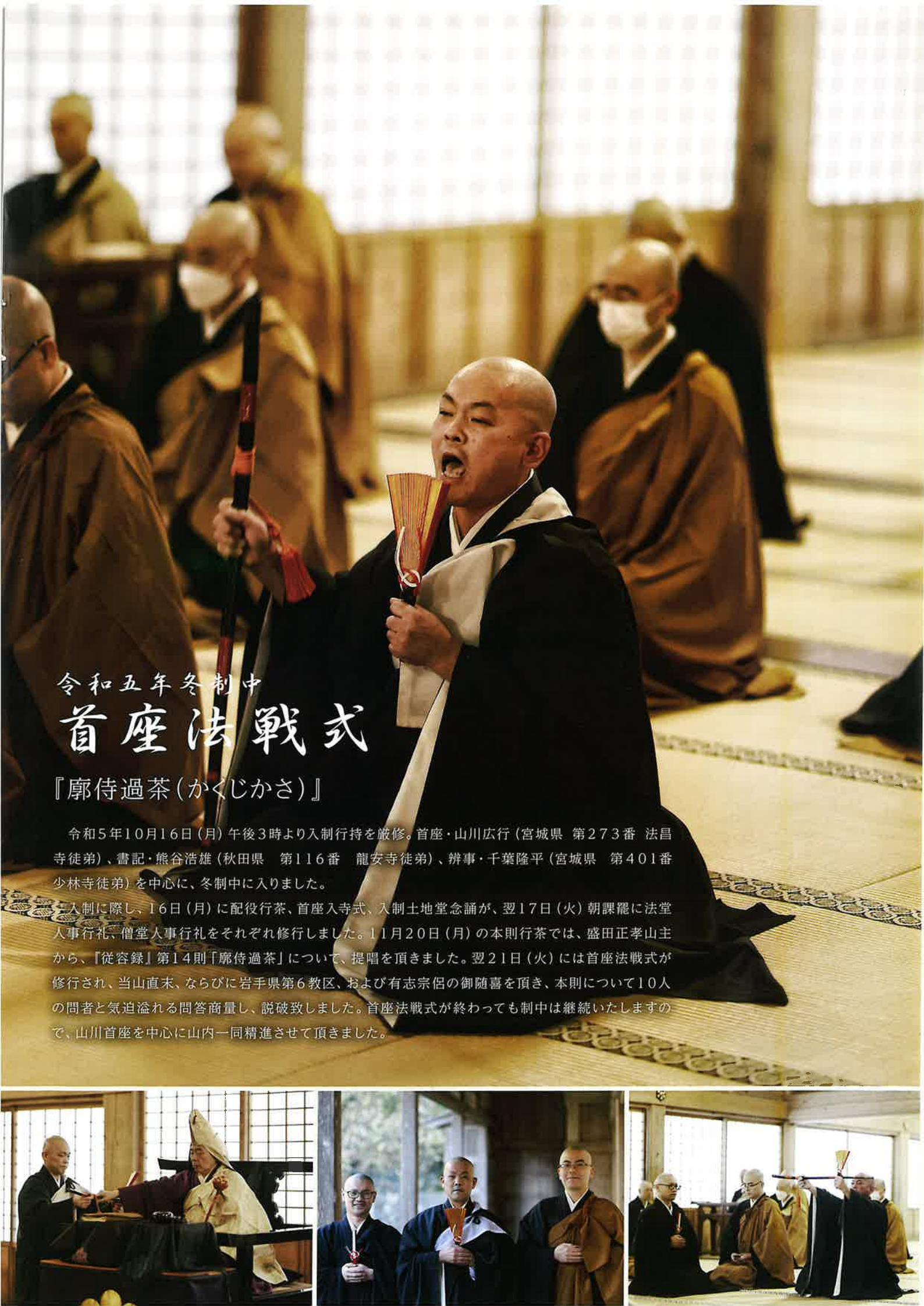
本則行茶



▼11月21日(火)

首座法戰式

首座 宮城県 273番  
法昌寺徒弟 山川広行兄

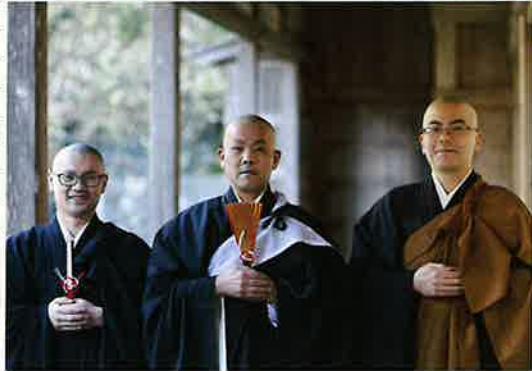


# 令和五年冬制中 首座法戦式

## 『廓侍過茶(かくじかさ)』

令和5年10月16日(月)午後3時より入制行持を厳修。首座・山川広行(宮城県 第273番 法昌寺徒弟)、書記・熊谷浩雄(秋田県 第116番 龍安寺徒弟)、辨事・千葉隆平(宮城県 第401番 少林寺徒弟)を中心に、冬制中に入りました。

入制に際し、16日(月)に配役行茶、首座入寺式、入制土地堂念誦が、翌17日(火)朝課罷に法堂人事行礼、僧堂人事行礼をそれぞれ修行しました。11月20日(月)の本則行茶では、盛田正孝山主から、「從容録」第14則「廓侍過茶」について、提唱を頂きました。翌21日(火)には首座法戦式が修行され、当山直末、ならびに岩手県第6教区、および有志宗侶の御隨喜を頂き、本則について10人の問者と氣迫溢れる問答商量し、説破致しました。首座法戦式が終わっても制中は継続いたしますので、山川首座を中心に山内一同精進させて頂きました。



首座寮から制中への意気込み



首座

宮城県第273番

法昌寺 徒弟山川広行

私は今和5年冬制中は  
おいて首座の任を拝命致し

ける第一座として修行僧の先頭に立ち、書記和尚、辨事和尚の協力を仰ぎながら、「第一座として修行僧の手本になる」という思いを肝に銘じながら首座の任にあたりました。

番目の本山として長い歴史を誇ります。その正法寺専門僧堂において、盛田正孝山主老師を法幢師として、首座の任に当たる御縁をいただくことが出来たことは、大変名誉なことであると同時に、重責が伴うということを重々自覚致しております。

私自身を振り返りますと、昨年3月末の上山時は、右も左も何も分からず、正法寺専門僧堂の厳格な規律の中で、修行僧としての本分を果たすことが出来るのだろうかと不安な気持ちで一杯でした。その様な境遇においても、山主老師、後堂老師、单頭老師の皆様に温かく見守っていただいております。また、諸役寮方の御指導も賜り、法式進退、および、僧侶としての所作進退など少しずつではありますが身に付いて参りました。現在、正法寺専門僧堂の安居者は私を含めて8名。山上して間もない新到の姿は、今までの私の姿そのものと受け止め、日々と共にしながら研鑽を積みつつ、お互いに意識を高めあいながら、内容の充実した制中にしていきたいと考えております。



書記

私は今冬制中において  
書記の役を頂きました。

書記和尚は、辨事和尚さんと共に首座和尚さんの補佐をしたり、法式進退などを首座和尚さんに教える役です。正法寺専門僧堂の今までの書記和尚は、殆どが役寮さんが務めていましたが、御縁もあって今冬制中は私が務めさせて頂く事になりました。この話を伺ったとき、私はこの正法寺専門僧堂

辨事和尚は制中の間、首座和尚さんを補佐する役です。日々の行持においても首座和尚さん、書記和尚さんを中心としつつも、任せきりにせず、一歩引いた所から全体を見渡し、細かい部分を補佐するよう心がけながら務めさせて頂きました。



辨事

宮城県第401番

この90日間の制中は、書記和尚として貴重な経験が出来  
る制中であり、「人の修行僧として初心を見直す制中にして  
いきたい」と思います。また、新到和尚も加わり、その内1名は  
外国から正法寺専門僧堂に修行しに来られた方です。我々か  
ら彼に教える事は沢山ありますが、彼から教わる事も沢山あ  
ると思います。私も彼の手本になれるよう行動し、また彼

から教わる事を身に付け、初心を忘れず、日々の仏道修行に向き合って行きたいと思います。



# 臘八摂心・成道会

12月1日（金）～8日（金）にかけて臘八摂心が修行されました。12月1日から1週間、お釈迦さまが菩提樹の下で坐禅修行を続けられ、12月8日にお悟りを開かれたことを坐禅修行で体現する臘八摂心。今年も県内外より有志僧侶の皆様が来山され、摂心修行ができたことは修行僧の励みとなっただけでなく、専門僧堂正法寺として的一面を垣間見る事が出来ました。60炷を超える僧堂での坐禅と、山内役寮による提唱などを含め坐禅三昧の時を過ごしました。2日目の土曜日には、日頃、土曜参禅会に参加されている方も一緒に坐りました。8日間に亘る坐禅修行を終え、「成道会献粥讐經」を厳修し、お釈迦様の御威徳を偲んだ後、小参で摂心修行中の思いを盛田正孝山主へ問話して摂心修行を終えました。



## 両祖忌

## 予修法要

## 『臘八摂心に隨喜して』

## 除夜の鐘



令和5年9月29日  
(金)、岩手県第6教区の有志寺院が法堂に会し、藤春院住職・松本隆真老師が導師を務め、高祖承陽大師道元禪師ならびに太祖常清大師瑩山禪師の御威徳を偲び両祖忌を修行政しました。

## 熊野大権現大祭祈祷会



令和5年10月16日  
(月)、正法寺末寺御

寺院ならびに有志僧侶の御随喜を賜り、御本尊如意輪觀世音菩薩の

みまえで春日和光後堂が導師を務め、「熊野大権現大祭祈祷会」を執り行い、願主様のお祈りと、更には人々の安寧と世の中の平和をお祈り致しました。

ありがたくも、山内修行僧も法要と法話に随臺させていただき良い経験を積ませていただきました。

様に法話をされ、心に残るお話をされました。

岩手県支部、巖山会岩手県支部共催で總持寺御開山瑩山紹瑾禪師700回大遺忘予修法要が営まれました。盛田正孝山主導師のもと大法要が営まれおよそ100名の衆会により莊嚴な8行の行道がおこなわれ、参詣の皆様も大変感銘されておりました。その後、盛田

山主が、およそ200名のご参詣の皆さんに法話をされ、心に残るお話をされました。

堂内にて一心に坐を重ねられる山主老師、山内の皆様とく迎え入れてくださいり、あたたかな時間を山内で過ごすことができました。これもひとえにそれぞれの修行の時間をさいて準備をしてくださった大衆の皆様のお陰です。この場をかりて御礼申し上げます。

同じ場所、同じ空気のもと、同じ時間を共に坐らせて頂いたことは、ただただ有り難い時間でした。自身の発心、日常の有り様、そういったことをあらためて見つめなおす大切なひとときとなりました。8日早朝に皆様と見上げた明けの明星、私は一生忘れることなく精進してまいりたいと思います。ただ、本当に豊かな時間を過ごさせていただいだので、帰り難く、本当に帰りたくないと思つてはいる自分がいました。また再び拝登させていただき、坐禅三昧の中での自身の有り様をさらに磨いてまいりたいと思います。

この正法寺の空気を、雰囲気を修行によって作り出されている山内の皆様に、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。



藏輝会 北海道 真光寺  
眞如 晃人

これまでに幾度か摂心に隨喜させて頂く中、今年初めて8日目の朝を皆様とご一緒させて頂きました。12月の岩手は、北海道出身の私でも寒さを感じました

が、山内の皆様が快く迎えてくださいり、あたたかな時間を山内で過ごすことができました。これもひとえにそれぞれの修行の時間をさいて準備をしてくださった大衆の皆様のお陰です。この場をかりて御礼申し上げます。

『除夜の鐘』は午前2時の閉館までの間、絶える事無く鐘の音が境内地に響きわたりました。

令和5年大晦日、23時45分、庫裡鐘樓堂に於いて、般若心経を読經。続いて、盛田正孝山主が『除夜の鐘』の第一声目を撞鐘。続いて、法堂に於いて、新年を迎えて一番最初の朝課を修行致しました。読經中、約80名の参詣参列者にお焼香いただきました。



令和6年『元朝大祈禱会』

令和6年元旦、法堂に於いて、盛田正孝



令和5年冬制中  
解制人事行礼

山主が導師を務め、『令和6年元朝大祈禱会』を厳修しました。事前に祈禱札のお申込をされた願主の方々に加え、初詣客を合わせて、120名程の方々が参列、お焼香いただきました。本年もたくさんの祈願お申込をいただきまして、ありがとうございました。昨年、新型コロナウイルス感染症の扱いが「第5類」に移行されたこともあり、大晦日の晚から、当初の予想を遥かに超える参詣者が訪れました。その為、『元朝大祈禱会』の会場を急速、仏殿から法堂大間に変更致しました。大晦日の晚から三箇日までの参詣者数は、1800名を数え、口口ナ禍前の活気が戻つて参りま

令和5年冬制中の締めくくりとして、  
1月14日(日)、松森弘隆単頭が導師を務  
め、「令和5年冬制中解制土地堂念誦」を嚴  
修致しました。翌15日(月)朝課龍に小参を行  
い制中中の修行の成果を、盛田正孝山主に  
問話商量しました。統いて「解制人事行  
礼」、僧堂に於いて「僧堂人事行礼」を修  
行。寒行鉢罷、同日午後より、「圓鏡調  
印式」を厳修し、盛田正孝山主から山川広  
行首座へ労いの言葉が掛けられました。



## 開かれた禪苑

月例法話会

令和5年4月から4回に亘り『月例法話会』を開催。山内役寮が法話者となり、今年度は、9月3日（日）の5回目が最終回となりました。この日は、盛田正孝山主が法話者を務め、僧俗合わせて80人近い聞法者が法堂に会して行われました。引き続き、令和6年も『月例法話会』を企画して参ります。是非、皆様お誘い合わせの上、御来山下さい。

令和5年10月24日(火)、奥州市立黒石小学校の子ども達との交流会が正法寺を会場に開催されました。黒石小学校との交流会は、毎年行われておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ここ2年間はお休みが続いていました。さらに児童数の減少により、令和6年3月31日に、150年の歴史に幕を閉じて閉校となるので、最後の思い出づくりに交流会を実施したいとの想いにより最後の交流会の開催となりました。当日は、修行僧が拝観案内し、正法寺の歴史に触れていただきました。続いて、高橋哲行典座和尚が子ども達の健康を考えて調理した精進料理を堪能していただきました。黒石小学校の児童、教職員合わせて40名が参加されました。



# 奥州市官民連携ワークショッピング 『TNGR』つながる』

令和5年11月30日(木)、岩手県奥州市地域づくり推進課へ、吉澤のり子

連携協定締結企業と連携して実施しているワークショッピング「TNGR～つながる～」が正法寺にて開催されました。

この日は、アートクレジットアートに参加している水沢第一高等学校の生徒ら11名と連携企業のコーディネーターが

正法寺に来山 地元 奥州市内に点在する觀光地を訪ねるというので、奥州市内の大自然の中、日本最大のか

いておられました。また修行僧による拝観案内を通して

れました。

## 奥州市立黒石小学校との交流会

## 上山者紹介

令和五年冬安居

宮城県 第35番 龍雲院 徒弟  
坂下 顯雄



米国 オレゴン州 正法佛眼寺 徒弟  
ショーストロム淨一



秋田県 第106番 長禪寺 住職  
金子 宗元



### 特殊安居



宮城県 第418番 光明寺 徒弟  
佐々木 大賢

## 上山して

宮城県 第35番 龍雲院 徒弟  
坂下 顯雄

米国 オレゴン州 正法佛眼寺 徒弟  
ショーストロム淨一

上山して数ヶ月が過ぎた頃、作務や食事、普段の生活の仕方、話し方などを諸先輩方から教わる中、自分自身が考えていた以上に自分に足りなかつたものや出来ないことが沢山ある事を思い知らされました。最初の頃は、これから何日、正法寺専門僧堂で生活をするのか、もしかしたら1ヶ月も経たないうちに家に帰ることを考える時もありました。しかしながら、役寮さんははじめ、山内で共に修行する先輩方から時に厳しく、また和やかに日常生活の作法から公務に至るまで沢山の事を教わりました。正法寺専門僧堂に安居できたことは、自分の成長につながるものと感じております。まだまだ失敗が重なつたり間違えることも多いですが、出来なかつた事が少しづつ出来る様になり、達成感を覚える事が増えてきました。ですが、初心を忘ることなく、一步一歩着実に様々な事を覚え、身につけながら、当役の任を果たせるよう精一杯努力をして行きたく考えております。

私はスウェーデンに生まれ、現在25歳です。幼い頃から様々な種目のスポーツに挑戦しながら米国で育ちました。高校生最後の年に哲学の受業を選択したことを契機に自身の哲学的な考えを書き記し始めました。この頃から、瞑想することが感情や思考をコントロールする良い方法だと思いました。この訓練が出来る場所は無いだろうかと考え、オレゴン州ユージーンに仏教寺院「正法佛眼寺」を見つけました。ここで私は坐禅の仕方を指南されました。坐禅は心の拠り所になるだろうと実感しました。そして、佛眼寺で法話を聞き、住職の話は良い教えだと思います。私は坐禅をしに、法話を聞きに、独参をする為にたびたび佛眼寺を訪れるようになっていました。

高校卒業後、家庭の都合でスウェーデンに引越。当初は学びたい事が見つからず、ひとりで仏教書を読みます。そこで、修行僧として布教教化に励みたいたいと思います。不確定な未来ですが、私は坐禅を続け、仏陀と御祖師方を敬い続け精進したいと思います。

米国の正法佛眼寺に戻りたいという思いを募らせ米国に戻り、佛眼寺常住の修行僧として2年間を過ごし得度しました。

岩手県 第96番 常泉寺 徒弟  
伊藤 賢丈



宮城県 第273番 法昌寺 徒弟  
山川 広行



## 送行者紹介

岩手県 第96番 常泉寺 徒弟  
伊藤 賢丈



## 姫神コンサート

令和5年9月30日（土）、岩手県出身在住のシンセサイザー音楽家、姫神さんが、『正法寺七百年の祈り』による心の平穏コンサートと題して正法寺を会場にコンサートを開催されました。

このイベントは単にコンサートを開催するだけではなく、正法寺の素晴らしいを広めるためのプロジェクトであるため、ポスター撮影と平行してドローン撮影やSNSでの配信も進められました。

さらには、テレビ岩手「ごきげんテレビ」においてコンサート開催の紹介がされ、当日演目予定の般若心経とシンセサイザーのコラボレーションの練習風景も収録されました。コンサート開催前には、テレビCMも放送され、幻想的な正法寺と姫神さんのコラボレーションが広く周知されたこともあり、200席のチケットも完売となり、第2部の開催にまで至りました。

さらに夜の開催であるために、境内を彩るための竹灯籠制作も企画され、これは地元高校生のボランティアにより制作され、コンサートスタッフのみならず、地元の皆様と共に進めるイベントとなりました。当

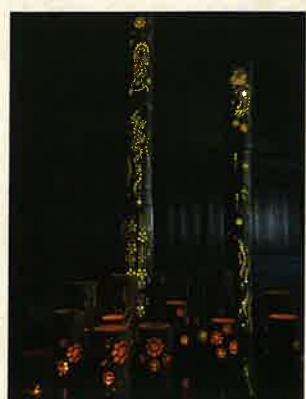
堂内での開催となってしまいました

が、旧典座寮での竹灯籠の明かりでお客様をお迎えし、姫神さんの曲が流れると一瞬にして法堂全体が幻想的な空間となりました。曲の合間に

は、参加者の皆様に椅子坐禅を体験していただいたり、盛田正孝山主と海野義範布教師による法話も拝聴いただきました。そんな中、コンサート中一番のクライマックスは、般若心経とシンセサイザーのコラボレーションでした。姫神さんの穂やかで

あり莊厳な曲に乗せた山内僧侶の読経には、心に訴える力があり、お聞きいただきたい方の中には涙する方もおられました。

第1部には200名、第2部には150名の御来場をいただき無事に公演を終えることができました。ここに御来場いただきました皆様に感謝申し上げます。



## 送行に当たつて

岩手県 第247番  
正福寺 住職 須藤 寛人



私は令和5年6月から  
11月までの特殊安居とい  
う制度によって正法寺に

安居しました。最初の頃は、一日中鳴り続ける窓の外の水路の音が耳に障り、耳の中に昆虫が蠢いているかのように感じました。しかし、人は慣れるもので、いつからか、おそらく7月中旬頃からか、水路の音がそれほど気にならなくなりました。その頃から、僧堂の生活にも慣れてきたのでしょうか。それまでは、自分のことでいっぱいでしたが、周りを見る余裕が、いくらかできてきたように感じます。すると、山主老師の法堂での姿の美しさ、所作の厳しさに心打たれました。

仏教伝来以来今日まで、日本仏教のなかでは、覚りについて幾度となく、また形を変えながら、議論されてきました。真言律宗や日蓮宗のように、覚りの内容について語るものもありましたが、そのほとんどは真似ること、すなわち釈尊の姿を真似、祖師の生き方を真似ることについての議論でした。その議論の点からすると、正法寺において悟りにもっとも近いのが山主老師であり、その姿、所作を手本として見倣うことが正法寺における修行ではなかろうかとおぼろげながら思ふようになりました。安居でそのような「こころづき」が得られましたし、学ぶことの多い経験をすることができました。

特殊安居ではありましたが、大慈大悲の人である山主老師をはじめ、役寮さんがたのおかげで、無事に期間を終えることができました。そして、大衆の皆さんへの支えによって送行に至ることができたと感謝しております。

## 安居者募集中

正法寺専門僧堂では、安居者を募集して

おります。少子化が進む現代において、盛田正孝山主の考える僧侶教育を実践するべく、大本山永平寺維那を務めた春日和光後堂をはじめ、現在は12名の役寮が従事し

修行僧の育成に励んでおります。四九日ににおいても暁天を欠かさずおこなう山風のかで、典座和尚による精進料理、維那講師による法要指導、特派梅花講師による梅花講義、特派布教師による布教の心得など多岐にわたり修行経験を積むことができる

のが正法寺専門僧堂の特徴です。

僧堂の在り方が問われる今、お弟子様の修行の場として、正法寺専門僧堂をご案内いただければ幸いです。安居募集期間は、春と秋の解間期間となります。制中期間ににおいてもお受けすることができます。その際は、ご相談ください。

また、参禅の経験を長く積まれた方で、本来の修行を経験してみたい一般の方の修行も募集しております。ご本人の希望をお聞きしながら、期間や内容を決めることができますので、修行体験をご希望の方はご連絡ください。ただし、修行には、参禅道場からのご推薦をいただいてのお申込みとなります。

正法寺専門僧堂は年間2期間の開旦過を設け、弘法利生を志す安居者を募集しております。

夏安居開旦過 1月20日～3月31日 / 冬安居開旦過 7月20日～9月30日

### 《掛搭資格》

\*曹洞宗の僧籍簿に登録されている者であって中学校卒業以上の者。

本山僧堂への安居修行後、更なる坐禪修行、参究・実践を積まれたい方。諸事情により、本山僧堂への安居が難しい方も御相談下さい。※正法寺専門僧堂則より引用

僧堂安居を希望される方は、「正法寺専門僧堂 監事寮」までお問い合わせ下さい。監事寮より掛搭志願資料をお送り致します。

正法寺専門僧堂 監事寮

Tel. 0197-26-4041(代) / Fax. 0197-26-4107(代) / Url. shoboji.net/professional\_sodo/

受付時間 9:00～17:00 (11月～3月は16:00まで) 無休



- 正法寺発展興隆奉贊会協賛者御芳名 -

(令和5年 6月1日から12月7日まで受付分)

正法寺発展興隆奉賛会の会計年度は6月1日から翌年5月31日までとなつております。令和5年度、12月7日までに会費、協賛金を納入賜りました御寺院様、個人・企業の皆様には年末に御礼状を送付しております。その方々の御芳名を掲載しました。

これから会費、協賛金の納入をお考えいただいている皆様には同封の郵便振替払込用紙に合計金額と住所、寺院番号、寺院名（氏名）、電話番号をご記入の上、納入下さいますようお願い申しあげます。

なお、郵便振替払込領収書を本会の領収書に替えさせていただきますことをご了承願います。